

# 索道事業安全報告書（2018年）

柵池ゴンドラリフト株式会社



柵池ゴンドラリフト

2017年8月1日～2018年7月31日

【柵池高原スキー場】

柵池ゴンドラリフト・つが第1ペアリフト・柵池ロープウェイ

索道事業安全報告書は、当社における索道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態をまとめたものです。本報告書をお読みいただき、ご意見・感想をお寄せください。

## 1. ご利用のお客様へ

当社の索道事業に対しご利用とご理解をいただきまして、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。皆様が当社に寄せる「信頼」の基本となるものは「安全」と「安心」であります。当社は、常にこれらのことを認識しながらお客様との対応をしております。鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態・方法について、自ら振り返るとともに、ご利用していただくお客様に広くご理解いただくために索道安全報告書を公表いたします。皆さまからの声を輸送の安全に役立てる為に、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

拇池ゴンドラリフト株式会社  
(拇池高原スキー場)  
代表取締役社長 山岸 信也

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規定をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の遂行に努め、疑義のある時は、「安全は全てに優先する」として最も安全と思われる取り扱いに努める。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行う。

### (2) 安全目標

今年度、索道運転事故及び乗降場での事故発生件数は0件でした、今後も安全基本方針を基に安全・安心な索道運行に努めて参ります。

2017年8月～2018年7月 索道輸送安全目標は次のとおりです。

(1) 索道事故発生件数をゼロ(0)の継続。

(2) 係員の起因としての乗降場での事故発生件数をゼロ(0)の継続。

従業員教育、過去の索道事故事例、ヒヤリ・ハットの活用、学ぶことにより事故防止に努める。

### 3. 事故等の発生状況と運休状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

本年度、国土交通省への報告はありません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

災害による運行停止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候）

本年度、国土交通省への報告はありません。

(4) 行政指導等

本年度、国土交通省からの指導はありません。

### 4. 索道輸送の安全確保に関する当社の取組み

(1) 索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修および、シーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や過去の事故事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。

また、シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリ・ハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに共有し注意喚起と安全向上に努めています。



日本スキー場開発(株)グループ会社合同研修会

#### グループ会社の取り組み

日本スキー場開発(株)グループ会社合同で定期的にミーティングを行い、事故・トラブル、ヒヤリ・ハットについて、他事業者を含む事例の分析や対策、技術情報の共有を行うとともに、グループ会社相互で内部監査を行い、安全性の更なる向上に努めております。また、春にはBCP（事業継続計画）により緊急事態を想定した訓練を行い、秋には合同研修会にて、グループ全体での技術の向上、各社安全対策についての報告会を行い、安全な索道輸送の取り組みを継続しております。

## (2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に、各所従業員一同にて救助訓練を実施しています。また、予備原動装置を備えた索道ではこれを活用した訓練を実施しています。

## 5. 索道保安設備の維持管理・改修

### 安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。

本年度は、支えい索、ゴンドラリフト・リフト系の握索機等のオーバーホール及び、線路部品等の交換工事を実施しました。

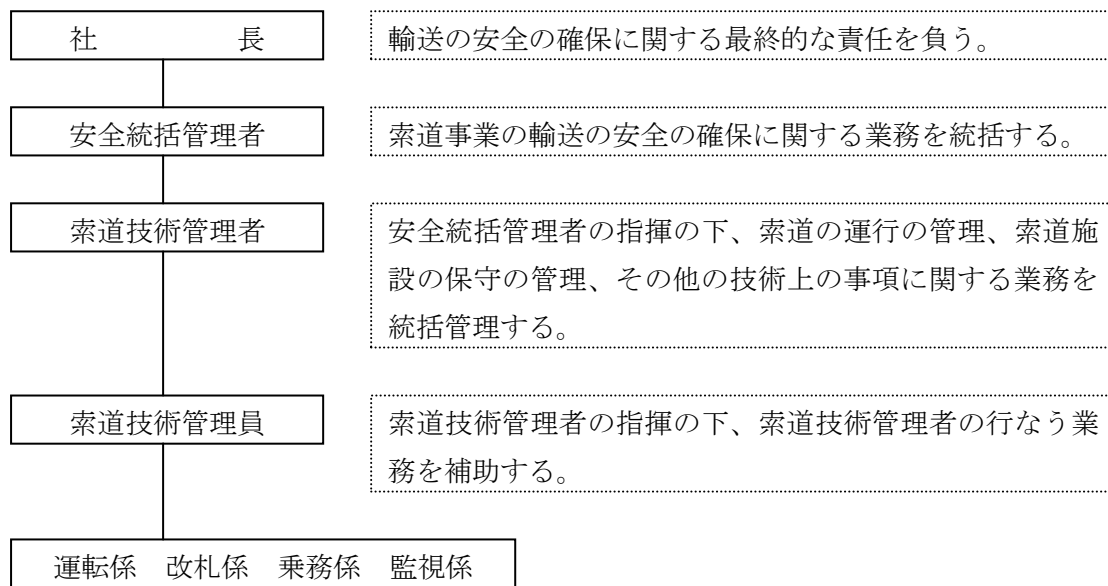


梅池ゴンドラ1区支えい索交換工事

## 6. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

また、危険予知を導入し、日々の業務に反映させております。



### 役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントのPDCAサイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

## 7. 利用者の皆様の連携とお願い

### (1) お客様の声をかたちにしています

場内にお客様の声を聞かせるようご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせていただきます。ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。

また、当スキー場ホームページでもお待ちしております。



## (2) 注意事項とお願い

スキー・スノーボード、登山等はもともと大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外、登山道の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、自然災害に巻き込まれないよう十分注意してください。

また、林道等一部狭い箇所もありますので注意して滑走してください。

当スキー場では、事故を無くすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずお客様の注意深い行動であることを忘れないでください。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意ください。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

## (3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

## 8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒399-9301

長野県北安曇郡小谷村大字千国乙 12840 番地 1

樽池ゴンドラリフト株式会社

TEL 0261-83-2255 FAX 0261-83-2002

E-mail info@nsd-hakuba.jp